

ありがとうファンド

(愛称:『ファンドの宝石箱』)

◆ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合 いつでも購入できて、日本や外国の資産に投資することができる投資信託です。
信託期間	無期限
運用方針	投資家の方々の長期的な資産形成のお手伝いをさせていただくことを目的とし、複数のファンドに分散投資することを基本とします。 運用方針としては、経済の変動のダイナミズムを先取りしたアセットアロケーションを前提にファンドの組成に取り組む方針を一貫して行います。
主要運用対象	主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限は設けません。 ②株式への直接投資は行いません。 ③同一銘柄の投資信託証券への投資は、原則として信託財産の純資産総額の50%未満とします。
分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。(分配を行わないこともあります。)分配金は税引後自動的に全額再投資されます。

※当ファンドは課税上、株式投資信託として取り扱われます。

第8期 運用報告書

(決算日 2012年8月31日)

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、皆様の「ありがとうファンド」は、平成24年8月31日に第8期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

税理士・公認会計士が立ち上げた資産運用会社

 **ありがとう投信**
Arigato Asset Management Inc.

東京都台東区上野3丁目19番4号 サカイビル
<http://www.39asset.co.jp>

◆お問合せ先

TEL. **0800-888-3900**(フリーCall: 携帯電話は除く)
または **03-5807-9710**

受付時間8:30~17:30 (土日祝日を除く)

◆ 運用チームからお客様へ

岡 大

代表取締役 CIO (最高投資責任者)

おかげ様で、皆さまのありがとうファンドは第8期の決算を迎えました。前期は『3.11 東日本大震災の年』というまさに激動の1年でしたが、今期を一言で言うと『欧州債務問題に振り回された年』ということになるでしょうか。欧州の債務問題についての材料が何か出るたびに、市場心理は楽観と悲観との間で行ったり来たり大きく振れ、マーケットもそれにつれて右往左往の状態でした。

そんな梅雨時の変わりやすい天気のような状況下、私たちは進む方向はしっかりとキープしながら、欧州から延びる前線の影響を軽減すべく舵取りを続けましたが、結果として基準価額は、1年前との比較で2.6%というわずかなプラスで決算を迎えることとなりました。

未だ未だ順風満帆の航海とは申し上げられない中、引き続き長旅をご一緒してくださいました多くの皆さま、また今期より新しく長旅に加わってくださった皆さま、本当にどうもありがとうございます。今後とも、皆さまからのご信頼にお応えできますよう、社員一同、精一杯の努力を続けてまいります。

まだしばらくの間は、いつ時化てもおかしくないような天候下を慎重に進んでいくことになるかと思いますが、少しずつ随所に晴れ間ものぞくようになってきそうです。良い航海をともにしていただけますよう、しっかりとリーダーを張りながら進んでまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

川元 由喜子

投信企画運用部 ファンドマネージャー

大震災から1年半が過ぎ、日本で何かが変わったということはあったのだろうか、とふと考えてみました。社会全体が大きく動いたということが、もっとあっても良かったようにも思いますが、経済を見ている中で、数字ではっきりと出たものがひとつありました。貿易収支です。もちろん特殊な要因は色々とありましたが、数年前にも一度赤字になっていますし、そうこうしているうちに、貿易赤字などそう特別なことでもなくなってしまうような気がします。

企業の動きを見ていると、従来は海外とは無縁であったようなところが、企業買収なども活用して、気が付くと高度にグローバルな企業になっていたりする、そんな例がしばしば目につくようになりました。日本経済のグローバル化も、新しい局面に入っていると言ってよいのでしょうか。

残念ながら、日経平均は大きく居場所を変えるということはありませんでした。しかし、変化は起こるところでは起こっています。それらは時間をかけて、企業価値の変化にも表れてくるでしょう。私たちはこれからもじっくりと、運用に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

◆ 設定以来の運用実績	P.4
設定以来の基準価額、分配金、期中騰落率、純資産総額を決算期ごとに掲載しています。 期中騰落率とは、基準価額が各期どれだけ値上り（値下がり）したかを意味します。	
◆ 当期中の基準価額と市況等の推移	P.4
当期中の基準価額、組入れファンド全体への投資比率の推移をご覧ください。	
◆ 当期中の運用概況と今後の運用方針	P.5
信託財産の運用状況をファンドマネージャーが説明します。	
● 基準価額の推移	
● 当期の金融市場の動向	
● 当期の運用状況	
● 分配金のお知らせ	
● 今後の運用方針	
◆ 直接販売状況	P.9
運用会社が直接お客様に販売しているありがとうファンド。 今期の販売状況をカスタマーサービス部よりご説明します。	
◆ 1万口当りの費用の明細	P.11
信託財産から間接的に支払われる信託報酬が記載されています。	
◆ 当期中の売買および取引の状況	P.11
当期中に売買された銘柄について、銘柄別に口数や金額などが記載されています。	

◆ 利害関係人との取引状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.11
◆ 第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況	・・・・	P.11
◆ 自社による当ファンドの設定・解約状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.11
◆ 組入資産の明細	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.12
	決算日時点の組入資産の状況が記載されています。	
◆ 投資信託財産の構成	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.12
	信託財産の純資産総額における構成状況を記載しています。	
◆ 資産、負債、元本及び基準価額の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.13
	信託財産全体の資産・負債の状況などが記載されています。 企業という貸借対照表のようなものです。	
◆ 損益の状況および当期の分配金	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.13
	期中に計上したファンドの収益と損失を掲載しています。 企業という損益計算書のようなものです。 また当期の当期の分配金状況について掲載しております。	
◆ お知らせ	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.13
	当期中に発生した約款変更について掲載しています。	
◆ 指定投資信託証券の運用内容	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.14
	信託財産に組み入れられた投資信託受益証券及び投資証券の運用状況を参考資料として掲載。	

◆ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産総額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率			
(設定日) 2004年9月1日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 161
1期 (2005年8月31日)	10,705	0	7.1	76.0	—	813
2期 (2006年8月31日)	12,526	0	17.0	79.4	—	3,255
3期 (2007年8月31日)	12,681	0	1.2	89.3	—	6,857
4期 (2008年9月1日)	10,075	0	△20.6	92.0	—	6,847
5期 (2009年8月31日)	8,878	0	△11.9	81.9	—	7,075
6期 (2010年8月31日)	8,014	0	△9.7	84.3	—	6,850
7期 (2011年8月31日)	7,940	0	△0.9	86.1	—	7,105
8期 (2012年8月31日)	8,146	0	2.6	83.1	7.6	7,681

注1) 基準価額は1万円当り。騰落率は前期比。

注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク (参考指数) が存在しないため、上表には市況を併記してありません。

注3) 期中騰落率、組入比率は小数第二位を四捨五入。

◆ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基 準 価 額	騰 落 率	投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
(期首) 2011年8月31日	円 7,940	% —	% 86.1	—
9月末	7,831	△1.4	85.5	—
10月末	8,031	1.1	86.7	—
11月末	7,625	△4.0	85.9	—
12月末	7,569	△4.7	85.2	7.2
2012年1月末	7,920	△0.3	85.5	7.1
2月末	8,684	9.4	85.8	7.2
3月末	8,936	12.5	85.8	7.2
4月末	8,618	8.5	85.2	7.3
5月末	7,867	△0.9	84.4	7.4
6月末	8,032	1.2	84.1	7.4
7月末	7,960	0.3	83.2	7.6
(期末) 2012年8月31日	8,146	2.6	83.1	7.6

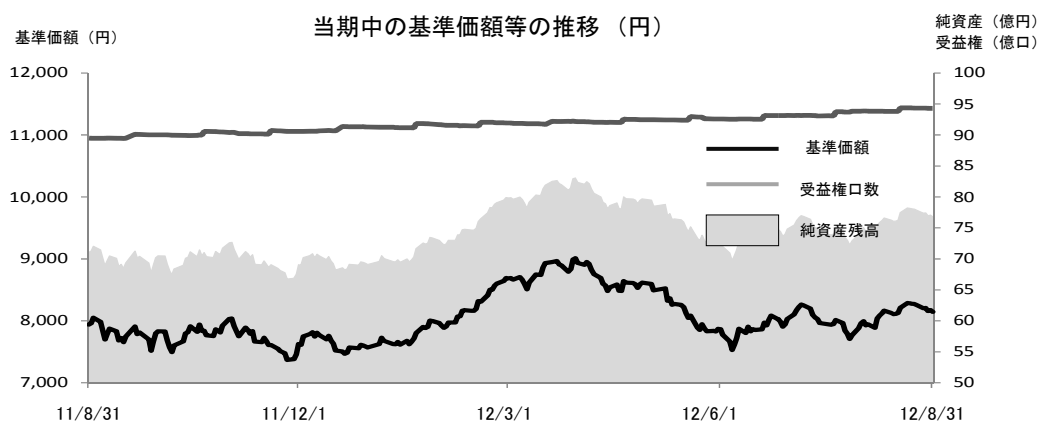
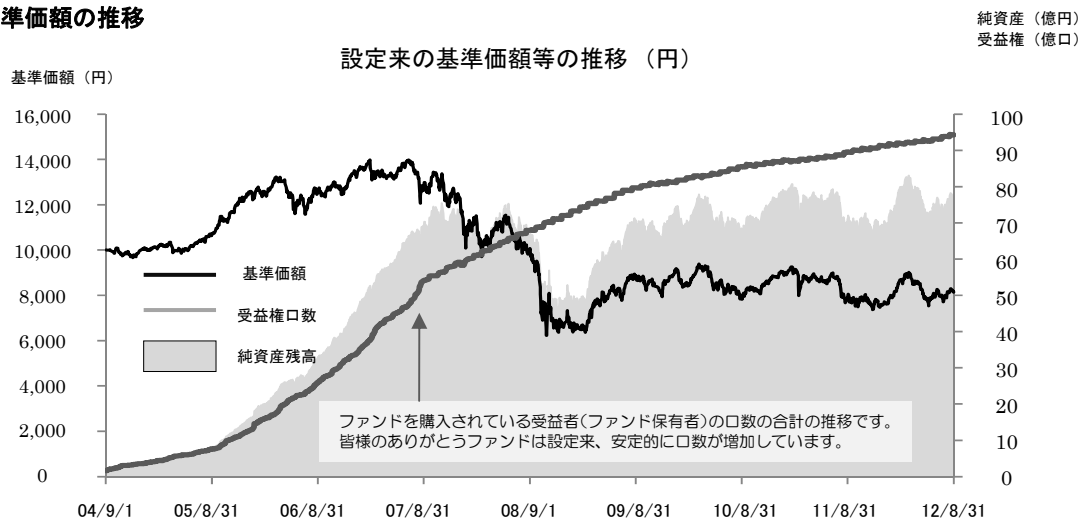
注1) 基準価額は1万円当り。騰落率は期首比。

注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク (参考指数) が存在しないため、上表には市況を併記してありません。

注3) 期中騰落率、組入比率は小数第二位を四捨五入。

◆ 当期中の運用概況と今後の運用方針

● 基準価額の推移



基準価額は 2.6% の上昇。基準価額は期首 7,940 円から期末は 8,146 円となり 206 円の値上がりとなりました。

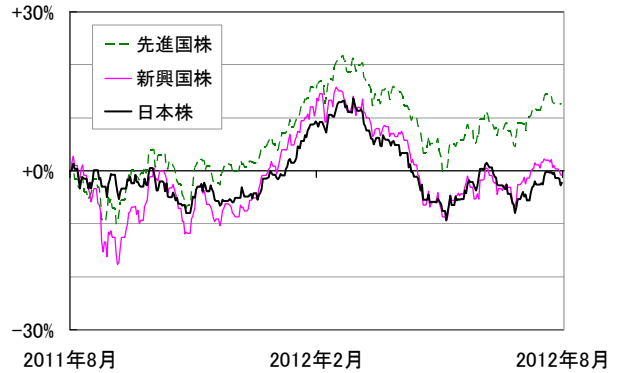
期首	期中高値	期中安値	期末
2011年8月31日	2012年3月29日	2011年11月25日	2012年8月31日
7,940円	9,013円	7,371円	8,146円

● 当期の金融市場の動向

この1年の株式市場は、およそ右のチャート（日本株＝TOPIX、先進国株＝MSCI WI<円換算>、新興国株＝MSCI EM<円換算>を表示）のように推移しました。

前期末から今期初にかけては、欧州の債務問題や新興国のインフレ、米景気の失速などへの懸念から世界的にリスク回避志向が強まり、荒れ模様でスタートしました。

しかし、年明けぐらいいから、欧州の債務問題について楽観的な見方が広がり、市場は全般に上昇基調となりました。その後、4月の年度替わりあたりから欧州の債務に対する懸念が再燃し、また元の水準に戻ってしまいました。その後は悲観と楽観の綱引きが市場参加者の間で繰り返されるにつれて市場自体の水準も上下を繰り返しもみ合いを続けながら期末を迎えています。



● 当期の運用状況

上記のような投資環境の下、この1年間のありがとうファンドの運用成績は+2.6%という結果となりました。対応する期間の各組入れファンドの運用成績は右表の通りです。

また、組み入れている各ファンドについて、今期のありがとうファンドの基準価額の騰落への寄与度を表したのが下のグラフです。

実際の投資行動としては、TMA長期投資ファンドとコモンズ30ファンドの2本について買い増しを実行しています。

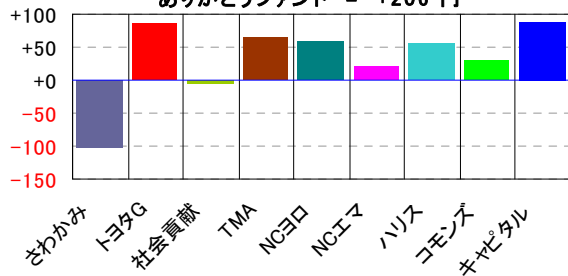
また昨年12月から、「キャピタル・インターナショナル・U S グロースアンドインカム・ファンド クラスX (ルクセンブルグ籍円建外国投資法人)」を新規に組入れに加えています。

ファンド名	11/08/31	12/08/31	騰落率
ありがとう	7,940	8,146	+2.6%

ファンド名	11/08/30	12/08/30	騰落率
さわかみ	10,833	9,900	▲8.6%
トヨタグループ	8,340	9,457	+13.4%
社会貢献	8,604	8,565	▲0.5%
TMA長期投資	7,922	8,291	+4.7%
NCヨーロッパ	7,429	8,581	+15.5%
NCエマージング	8,093	8,405	+3.9%
Alamcoハリス	6,156	6,931	+12.6%
コモンズ30	8,827	9,191	+4.1%
ファンド名	11/12/01	12/08/30	騰落率
キャピタル(*)	1,227	1,429	+16.5%

* 2011年12月に組み入れ開始

■ 組入れ各ファンドの寄与度(円)
ありがとうファンド = +206 円



左のグラフは、今期のありがとうファンドの基準価額の騰落について、組入れている各ファンドがおよそどれくらい影響したかを表したものです。ありがとうファンドへの組入れ比率が高いほどプラスもマイナスも大きく影響しますから、この大小がそのファンドの成績の良し悪しをそのまま表しているわけではありません。

この新規組入れファンドは、米投信御三家の一つキャピタル社の旗艦ファンドであるICA (The Investment Company of America: 1934年以来的実績を持つ米国有数の長期投資ファンド) と同じコンセプトで運用されているもので、『グロースとインカム (企業の利益と配当の持続・成長)』に焦点を当てて主に米国株に投資するファンドです。

このファンドは、米国の経済状況は一般に悲観視されているよりも良いはずだという私たちの継続した見方に基づいて米国株に投資する優れたファンドをずっとリサーチしていた時に、縁あって見つけたピカピカの宝石です。私たちのこれまでの一貫した長期投資の姿勢、投資哲学が認められて、『ファンドの宝石箱』に加えることができました。

このキャピタルのファンドについては新規組入れ時の買いのほか、買い増しも期中に行っています。

今期中に、その全部または一部を売却した組入れファンドはありません。

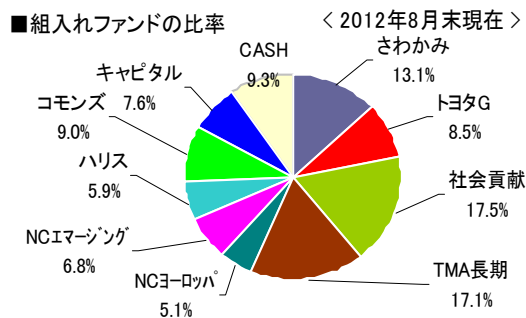
以上の投資行動により、期末時点の純資産総額に対する各ファンドの組入比率は右上の円グラフのようになっています。

その下のグラフは、組入れファンドの比率の推移を、ありがとうファンド設定のときから直近まで時系列にらべて表示したものです。年を経るにつれて投資対象を増やし、分散を進めながら全体のバランスを整えてきている様子が、ご覧いただけるとと思います。

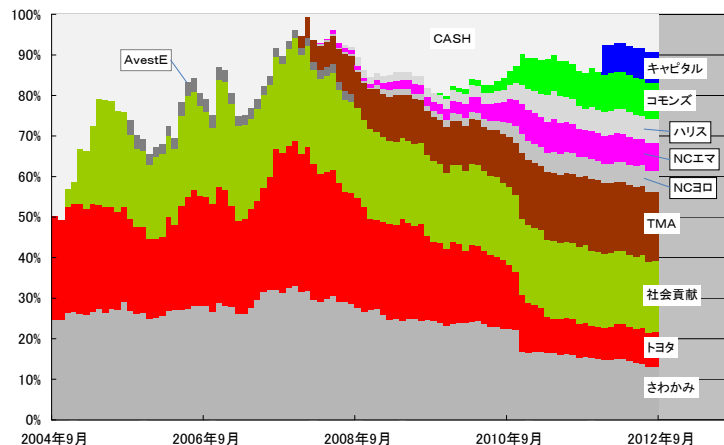
キャピタルの新規組入れ後、堅調な相場も手伝って一時はありがとうファンドのキャッシュポジション (現金比率) も期半ばには6%台まで下がっていましたが、欧州より長く延びる前線から繰り返し襲ってくる波をもちにかぶることのないよう、期の後半は買い増しを控えることで少しずつキャッシュを厚めに戻してきました。皆さまからの継続した定期購入 (積み立て) のおかげで、『下げに強い運用』を無理せずに追求できているのです。まさにお客様と私たち運用会社との二人三脚です。

● 分配金のお知らせ

今期末の分配金につきましては、市況動向等の諸々の状況を勘案し、前期に引き続き無分配とさせていただきます。



■ 組入れファンド比率の推移



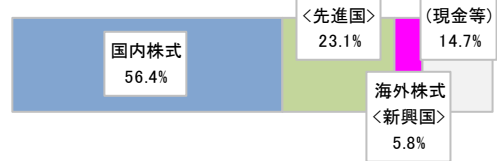
● 今後の運用方針

セミナーや月次レポートなどでもいつもご説明していますので『また同じ話』になってしまいますが、私たちは「下げに強い」運用を目指しています。そのことが、長期投資において最終的な勝つ確率を上げることにつながる

と確信しているからです。そのため大切なポイントの一つ、下げにくい投資対象資産という意味では、今の日本株の水準はかなり割安であるとみていますのでこれにあたと考えています。ですから、右図は各ファンドの中身を合計した資産配分状況（下のグラフは同じものを時系列で表示したもの）ですが、このように日本株が中心となっているポジションは今後も続きます。

■各ファンドの合計の資産配分状況

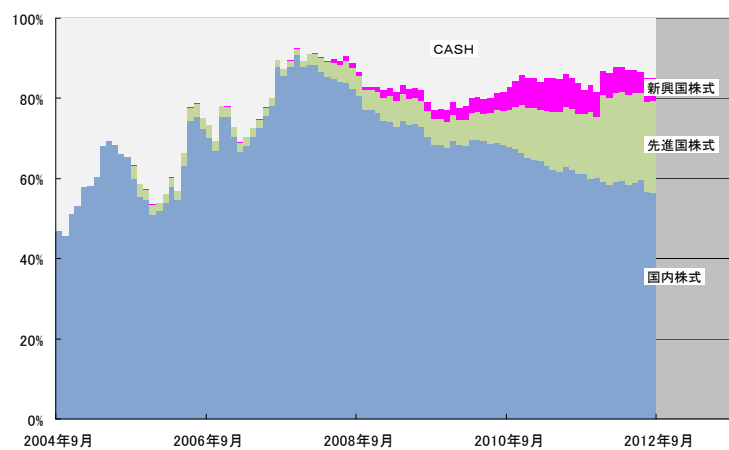
＜2012年9月初現在＞



ここ数年、当面の目安として申し上げてきた「日本株:海外

株:キャッシュ=6:3:1」（または日本:海外=2:1）」というバランスには概ね到達しましたが、この先やや長い目でみると、日本株の割安さが解消される（日本株の比率が上がる）と考えていますので、投資行動としては相対的に海外株のウェイトを高める方向性が続くことになります。

■各ファンドの合計の資産配分状況の推移



念のため申し上げますが、ここで話している「割安な日本株」とは、日本株市場全体のことではなく、選び抜かれた良い日本企業の株、という意味です。私たちの投資対象は日本という国でもなければ日本株市場全体でもありません。あくまでも私たちが選んだ良いファンドであり、その先で投資されている対象はそのファンドが選んだ良い企業群なのです。もちろん、このことは海外株についても同じです。

欧州の債務問題一つをとっても道筋がつくことと全て解決することとは違いますから、まだしばらくは何か出るたびに一喜一憂、荒れやすい市場環境は続くだろうと思います。それに備えて厚めのキャッシュポジションでリスクを抑えることを念頭に置きながら、一方で、積極的な買い増しをすることも既にしっかりと視野に入れていきます。

勝率を上げる、下げに強い、・・・こうした言葉が上ずべりすることのないよう、ありがとうファンドがこれからも皆さまにとって『安心してずっと持っていられるファンド』でありますよう、私たち社員一同、今後も一層精進してまいります。

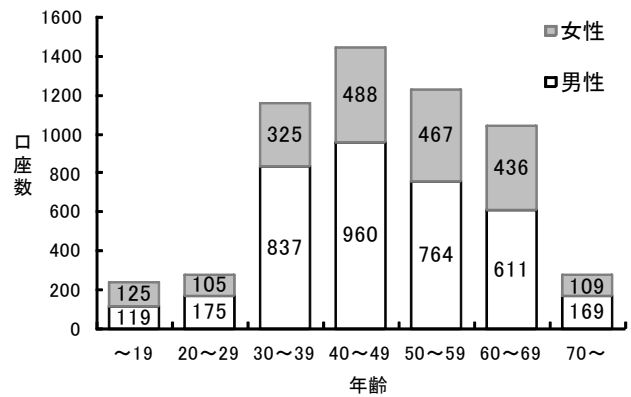
◆ 直接販売状況

当社が直販にこだわっている理由は、銀行や証券会社などの「販売会社」を通さずに、お客様と直接繋がりを築いていくことが長期投資を行っていく上で重要だと考えているからです。

長期投資の道中では経済や市場の大変動に出くわすこともあります。その度に右往左往してバタバタと売り買いをしては安定した資産運用など望めません。長期投資を継続していくためには、運用者とお客様のベクトルが一致していることが何より大切であり、市場環境が良いときも悪いときもお客様と一緒に二人三脚で乗り越えていきたいと考えております。

● 期末累計口座数 5,723 口座（前期比+76）

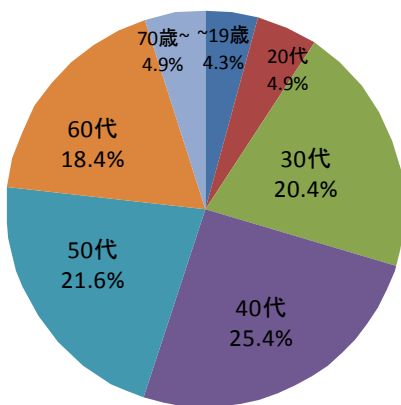
今期末の口座数は5,723 口座（内法人 33 口座）となりました。毎月コンスタントに新規口座開設申込を頂いた結果、前期比で76 口座の増加となりました。今期も市場環境は決して良いとは言えませんが、そのような状況の中でも、書籍や口コミなどで「ありがとうファンド」のことを知ってもらい口座開設して頂きました。



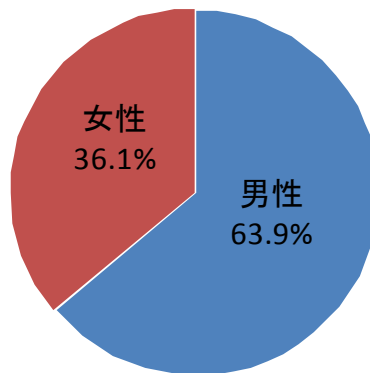
● お客様の特徴

年代別では、40代、50代、30代の順に多く、これらの年代で全体の約67%を占めており、性別では男性が女性よりも27.8%多い比率です。また、地域別では、関東が44.4%と最大で続いて中部、近畿が18.1%、15.5%で続いています。首都圏中心の傾向に変化はありません。

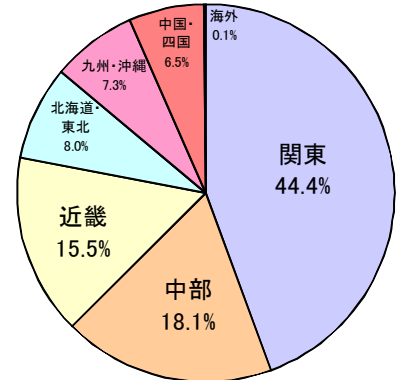
<年代別>



<性別>



<地域別>



● **ファンド設定・解約の状況**

有難いことにファンドへの資金流入が毎月続いており、今期は379,548,095円の資金純流入となりました。月間平均で約3,162万円の資金流入があった計算になり、安定した運用をすることができました。

この8年間、年ベースで換算すると「ありがとうファンド」への資金流入が毎年継続しております。

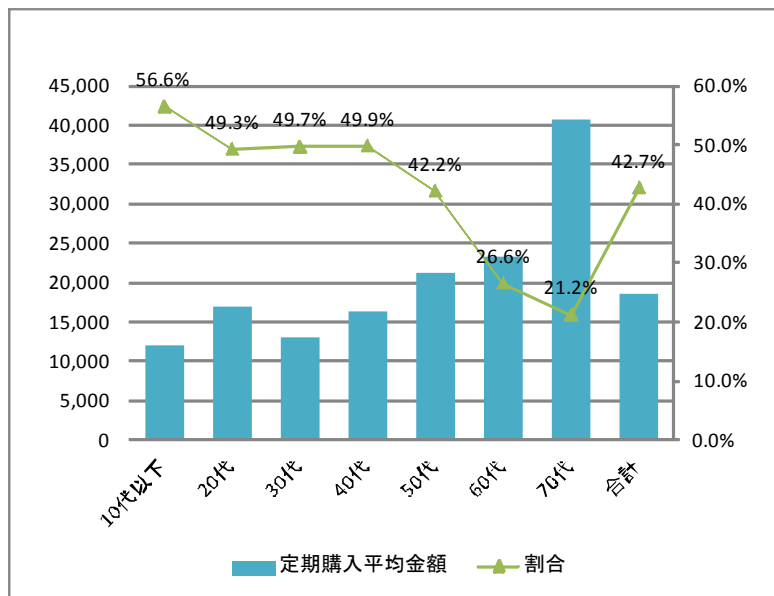
● **定期定額購入サービス**

毎月購入プランと分けて買いプランの2種類（併用も可）を用意しており、ご利用されているお客様の割合は42.7%で、定期購入平均金額は18,663円でした。傾向としては現役世代の利用率が高くなっております。当社ではノーロードで1,000円から積立できるのが特徴で、お客様のニーズに合わせて柔軟にご利用することができます。

● **カスタマーサービス状況**

今期もホルダーズミーティングを始めとして全国各地でセミナーを開催して参りました。セミナー参加者からは“長期投資の大切さにあらためて気付きました”“本物の投資について理解できました”“将来に対して夢を持ってました”等の声を多数頂きました。

また、セミナーに参加できない全国のお客様にメッセージをお届けするために、四半期毎のありがとうファンドの運用報告やセミナーをWeb 動画コンテンツとしてHPから視聴できるように致しました。



それから、今期は7月に基幹システムである投信販売口座管理システムの変更を実施致しました。これにより今後のシステムの拡張性が増すとともに法改正対応等にも柔軟に対応できるようになり、今後のお客様口座情報の管理について、従来よりもシステムの信頼性、安定性、拡張性が格段に向上することになりました。

最後になりますが、お客様にはこの場を借りてあらためて感謝申し上げますとともに、今後もお客様のご期待に応えられるように精進して参りますので何卒よろしくお願い申し上げます。

◆ 1万口当りの費用の明細 (自2011年9月1日 至2012年8月31日)

項目	金額 (円)
(a) 信託報酬	76
(投信会社)	(37)
(販売会社)	(30)
(受託銀行)	(9)
(b) 保管費用等	0
合計	76

注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
 (a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
 (b) 保管費用等は目論見書等の法定資料作成交付にかかる費用および監査費用などです。

注2) 各項目毎に円未満四捨五入のため、単純合計と表示が異なる場合があります。

◆ 当期中の売買および取引の状況

[投資信託受益証券] (自2011年9月1日 至2012年8月31日)

	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	コモンズ30ファンド	千口 55,383	千円 50,000	千口 —	千円 —
	TMA長期投資ファンド	37,773	30,000	—	—

注1) 金額は受け渡し代金です。
 注2) 単位未満は切り捨てです。

[投資証券] (自2011年9月1日 至2012年8月31日)

	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	ルクセンブルグ キャピタル・インターナショナル・ USグロース アンド インカム・ ファンド クラスX	千口 406	千円 500,000	千口 —	千円 —

注1) 金額は受け渡し代金です。
 注2) 単位未満は切り捨てです。

◆ 利害関係人との取引状況 (自2011年9月1日 至2012年8月31日)

期中における当ファンドにかかる利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◆ 第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

当期における自己取引はありません。

◆ 自社による当ファンドの設定・解約状況

(自2011年9月1日 至2012年8月31日)

期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 元本	取引の理由
千円 70,000	千円 0	千円 0	千円 70,000	期首残高は当初設定時に自社財産の運用を目的として取得。

◆ 組入資産の明細

● ファンド・オブ・ファンズが組み入れた投資対象ファンドの明細

[投資信託受益証券]

銘柄	期首(前期末)	当期末(2012年8月31日)	
	単位数又は口数	単位数又は口数	評価額
	千口	千口	千円
社会貢献ファンド	1,571,542	1,571,542	1,346,026
TMA長期投資ファンド	1,549,406	1,587,180	1,315,930
さわかみファンド	1,015,494	1,015,494	1,005,339
コモンズ30ファンド	695,111	750,494	689,779
トヨタグループ株式ファンドF	693,960	693,960	656,278
NC・エマージングマーケット・ファンドSA	623,389	623,389	523,958
ALAMCOハリスグローバルバリュー株ファンド2007	653,522	653,522	452,956
NC・ヨーロッパ・ファンドSA	460,662	460,662	395,294
合計	口数・金額	7,263,089	7,356,246
	銘柄数<比率>	8<86.1%>	8<83.1%>

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。比率は四捨五入。(注2) 単位未満は切り捨 (注3) NC=ニッポンコムジェスト

[投資証券]

銘柄	期首(前期末)	当期末(2012年8月31日)	
	単位数又は口数	単位数又は口数	評価額
(ルクセンブルグ) キャピタル・インターナショナル・USグロース アンドインカム・ファンド・クラスX	千口 -	千口 406	千円 580,805
合計	口数・金額	-	406
	銘柄数<比率>	0<0.0%>	1<7.6%>

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。比率は四捨五入。(注2) 単位未満は切り捨

◆ 投資信託財産の構成

項目	当期末 (2012年8月31日現在)	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	6,385,564	82.7
投資証券	580,805	7.5
コール・ローン等、その他	753,451	9.8
投資信託財産総額	7,719,821	100.0

注1) 金額の単位未満は切り捨てです。そのため、単純合計と表示が異なる場合があります。

注2) 比率は四捨五入してあります。

◆ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末 (2012年8月31日現在)
(A) 資 産	7,719,821,162 円
コール・ローン等	753,451,085
投資信託受益証券(評価額)	6,385,564,317
投資証券(評価額)	580,805,760
(B) 負 債	38,627,393
未払解約金	2,142,398
未払信託報酬	36,484,995
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	7,681,193,769
元 本	9,428,896,245
次 期 繰 越 損 益 金	△1,747,702,476
(D) 受 益 権 総 口 数	9,428,896,245 口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	8,146 円

注1) 期首元本額 8,949,466,060円
期中追加設定元本額 892,772,939円
期中一部解約元本額 413,342,754円

注2) 運用報告書作成日時点では、監査未了です。

注3) 計算期間の末日現在1口当たり純資産の額 0.8146円

◆ 損益の状況 (自2011年9月1日 至2012年8月31日)

項 目	当 期 末 円
(A) 配 当 等 収 益	363,963
受 取 利 息	363,963
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	259,312,429
売 買 益	369,360,207
売 買 損	△110,047,778
(C) 信 託 報 酬 等	△69,793,374
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	189,883,018
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△2,455,831,855
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金 (配当等相当額)	518,246,361 (1,058,047,275)
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金 (売買損益相当額)	(△539,800,914)
(G) 計 (D+E+F)	△1,747,702,476
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△1,747,702,476
追 加 信 託 差 損 益 金 (配当等相当額)	518,246,361 (1,058,047,275)
追 加 信 託 差 損 益 金 (売買損益相当額)	(△539,800,914)
分 配 準 備 積 立 金	165,701,422
繰 越 損 益 金	△2,431,650,259

注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

◆ 当期の分配金 (単位: 円、1万口当たり・税引前)

	当 期
当期分配金	-円
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,297

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期の分配金と一致しない場合があります。

＜復興特別所得税のお知らせ＞

2013年1月1日から2013年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時または償還時の差益に対し、所得税7%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、10.147% (所得税及び復興特別所得税7.147%、並びに住民税3% (法人受益者は7.147%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

◆ お知らせ《当期中の約款の変更》

●2011年11月30日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更 (信託約款の附則)

当ファンドの運用投資方針に従い投資信託証券「追加型証券投資信託 キャピタル・インターナショナル・USグロースアンドインカム・ファンドクラスX (ルクセンブルグ籍円建外国投資法人)」を新たな組入れ対象としました。

【ありがとう投信では本資料の他に当ファンドに関する詳細な内容の情報等を別途提供する場合があります、ご関心のある方はありがとう投信にお問い合わせ下さい】

◆ 指定投資信託証券の運用内容

『ありがとうファンド』は、主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替えを大前提とします。厳しい基準に基づいて選択されたファンドを活用し、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。運用成果については、特定のベンチマークを設けることはしません。短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。

組入れファンドの選択に当たっては、ファンドの運用方針が明確で、一貫性があることを重視し、ファンド・オブ・ファンズのパフォーマンスへの寄与を明確にします。選択の基準としては、運用資金が安定的に推移し、顧客から継続して支持を受けていることも重要な条件とします。組入れファンドの運用内容のチェックとして、基準価額の推移が運用方針と整合性を持っているかどうか重要な判断基準とします。

以降、各ファンドの直近の決算状況を各ファンドからのデータ提供をもとに掲載しております。

1 《さわかみファンド》

第13期（決算日：2012年8月23日）計算期間：2011年8月24日～2012年8月23日



■1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

自2011年8月24日 至2012年8月23日

項目	金額
(a) 信託報酬	111 円
（投 信 会 社）	（ 61 ）
（販 売 会 社）	（ 39 ）
（受 託 銀 行）	（ 11 ）
(b) 売買委託手数料	1
（株 式）	（ 1 ）
合 計	112

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■組入資産の明細（上位10銘柄）

2012年8月23日現在

順位	銘柄コード	銘柄名	業種名	組入比率(%)
1	7203	トヨタ自動車	輸送用機器	4.56
2	5108	ブリヂストン	ゴム製品	3.69
3	7011	三菱重工業	機械	3.00
4	4452	花王	化学	2.88
5	1605	国際石油開発帝石	鉱業	2.33
6	4063	信越化学工業	化学	2.14
7	6902	デンソー	輸送用機器	2.14
8	6752	パナソニック	電気機器	1.82
9	7267	ホンダ	輸送用機器	1.64
10	9104	商船三井	海運業	1.64

※比率は8月23日現在における純資産総額比です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2012年8月23日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	210,052,751,910円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,509,557,310
株 式 (評 価 額)	208,298,425,100
未 収 配 当 金	244,769,500
(B) 負 債	727,790,644
未 払 金	113,064,874
未 払 解 約 金	76,845,883
未 払 信 託 報 酬	537,879,887
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	209,324,961,266
元 本	205,226,474,386
次 期 繰 越 損 益 金	4,098,486,880
(D) 受 益 権 総 口 数	205,226,474,386口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	10,200円

注1) 期首元本額 196,110,985,919円
 期中追加設定元本額 16,581,731,984円
 期中一部解約元本額 7,466,243,517円

注2) 運用報告書作成日時点では、監査未了です。

注3) 計算期間の末日における1口当たり純資産の額は1.02円です。

■損益の状況

自 2011 年 8 月 24 日 至 2012 年 8 月 23 日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	4,483,264,124 円
受取配当金	4,472,854,121
受取利息	899,803
その他収益金	9,510,200
(B) 有価証券売買損益	△8,522,832,112
売買益	15,533,965,099
売買損	△24,056,797,211
(C) 信託報酬等	△2,230,456,309
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△6,270,024,297
(E) 前期繰越損益金	△62,813,252,743
(F) 追加信託差損益金	73,181,763,920
(配当等相当額)	(122,559,034,553)
(売買損益相当額)	(△49,377,270,633)
(G) 合計 (D + E + F)	4,098,486,880
(H) 収益分配金	-
次期繰越損益金 (G + H)	4,098,486,880
追加信託差損益金	73,181,763,920
(配当等相当額)	(122,559,034,553)
(売買損益相当額)	(△49,377,270,633)
分配準備積立金	47,567,430,919
繰越損益金	△116,650,707,959

注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含まず。

注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

2 《トヨタグループ株式ファンドF(適格機関投資家専用私募)》

第8期 (決算日:2011年11月14日) 計算期間:2010年11月16日~2011年11月14日



■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	前 期	当 期
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	35円 (29) (2) (4)	36円 (30) (2) (4)
(b) 売買委託手数料 (株式)	0 (0)	0 (0)
(c) 保管費用等	0	1
合 計	35	37

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加設定・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 保管費用等には、監査費用を含みます。

■組入資産明細表

● 親投資信託残高

(2011年11月14日現在)

種 類	期 首 (前 期 末)		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
トヨタグループ株式マザーファンド	千口 909,026	千円 1,087,286	千口 528,251	千円 542,936

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てています。

● トヨタグループ株式マザーファンド組入上位10銘柄(2011年11月14日現在)

銘柄名	業種	比率
1 トヨタ自動車	輸送用機器	49.8%
2 デンソー	輸送用機器	17.1%
3 アイシン精機	輸送用機器	5.9%
4 豊田自動織機	輸送用機器	5.8%
5 ダイハツ工業	輸送用機器	5.0%
6 豊田通商	卸売業	3.7%
7 日野自動車	輸送用機器	2.3%
8 ジェイテクト	機械	2.2%
9 小糸製作所	電気機器	1.5%
10 豊田合成	輸送用機器	1.4%

※比率は、ファンドの現物株式組入れ=100%とした各銘柄の比率です。各銘柄の配当は考慮していません。

※比率はマザーファンドでの比率です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	前期 (2010年11月15日)	
	前期末	当期末 (2011年11月14日) 現在
(A) 資産	1,089,688,172円	544,167,943円
コール・ローン等	2,374,504	1,220,041
トヨタグループ株式マザーファンド(詳細額)	1,087,286,664	542,936,900
未収入金	27,000	11,000
未収利息	4	2
(B) 負債	2,326,092	1,193,578
未払信託報酬	2,294,284	1,177,285
その他未払費用	31,808	16,293
(C) 純資産総額(A-B)	1,087,362,080	542,974,365
元本	1,193,960,447	693,960,447
次期繰越損益金	△106,598,367	△150,986,082
(D) 受益権総口数	1,193,960,447口	693,960,447口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,107円	7,824円

■損益の状況

項目	前期 (2009年11月14日～2010年11月15日)	
	前期 (2010年11月16日～2011年11月14日)	当期
(A) 配当等収益	789円	319円
受取利息	789	319
(B) 有価証券売買損益	△25,657,809	△86,168,474
売買益	14,224,368	36,011,720
売買損	△39,882,177	△122,180,194
(C) 信託報酬等	△4,937,934	△2,860,292
(D) 当期損益金(A+B+C)	△30,594,954	△89,028,447
(E) 前期繰越損益金	△712,968,972	△432,177,936
(F) 追加信託差損益金	636,965,559	370,220,301
(配当等相当額)	(489,814,322)	(284,692,325)
(売買損益相当額)	(147,151,237)	(85,527,976)
(G) 計(D+E+F)	△106,598,367	△150,986,082
次期繰越損益金(G)	△106,598,367	△150,986,082
追加信託差損益金	636,965,559	370,220,301
(配当等相当額)	(489,814,322)	(284,692,325)
(売買損益相当額)	(147,151,237)	(85,527,976)
分配準備積立金	213,509,822	131,465,754
繰越損益金	△957,073,748	△652,672,137

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

3 《社会貢献ファンド(適格機関投資家専用)》

第7期 (決算日:2011年9月20日) 計算期間:2010年9月22日~2011年9月20日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信託報酬 (投信会社)	77円 (67)
(販売会社)	(2)
(受託銀行)	(8)
(b) 売買委託手数料 (株式)	9 (9)
(c) 保 管 費 用 等	0
合 計	86

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です(各項目ごとに円未満は四捨五入)。

(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額×信託報酬率
 (b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
 (c) 保管費用等 = 期中の保管費用等/期中の平均受益権口数

なお、売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

■組入資産の明細

●親投資信託残高

(2011年9月20日現在)

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ALAMCO 社会貢献マザーファンド	千口 1,584,220	千口 1,566,709	千円 1,410,664

(注) 親投資信託の当期末の受益権総口数は、2,987,509千口です。

●ALAMCO 社会貢献マザーファンド組入上位10銘柄(2011年9月20日現在)

順位	銘柄名	組入比率
1	関西ペイント	3.7%
2	高砂熱学工業	3.7%
3	中国塗料	3.5%
4	伊藤園	3.5%
5	堀場製作所	3.4%
6	オイレス工業	3.3%
7	京セラ	3.2%
8	スタンレー電気	3.2%
9	東洋水産	3.1%
10	マキタ	3.1%

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2011年9月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,422,767,439円
コール・ローン等	12,102,437
ALAMCO社会貢献マザーファンド(評価額)	1,410,664,983
未 収 利 息	19
(B) 負 債	6,371,852
未 払 信 託 報 酬	6,332,339
そ の 他 未 払 費 用	39,513
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,416,395,587
元 本	1,671,542,949
次 期 繰 越 損 益 金	△255,147,362
(D) 受 益 権 総 口 数	1,671,542,949口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	8,474円

(注1) 期首元本額は1,671,542,949円、期中追加設定元本額は-円、期中一部解約元本額は-円です。

(注2) 投資信託財産計算規則第55条の6第10号に規定する額は以下のとおりです。

元本の欠損(当期末)255,147,362円

■損益の状況

当期(自2010年9月22日至2011年9月20日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	4,486
受取利息	4,486
(B) 有価証券売買損益	△15,608,936
売買益	229,664
売買損	△15,838,600
(C) 信託報酬等	△12,799,412
(D) 当期損益金(A+B+C)	△28,403,862
(E) 前期繰越損益金	△526,200,574
(F) 追加信託差損益金	299,457,074
(配当等相当額)	(178,185,162)
(売買損益相当額)	(121,271,912)
(G) 計(D+E+F)	△255,147,362
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△255,147,362
追加信託差損益金	299,457,074
(配当等相当額)	(178,185,162)
(売買損益相当額)	(121,271,912)
分配準備積立金	124,486,812
繰越損益金	△679,091,248

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(16,586,934円)、費用控除後の有価証券等損益額(-円)、信託約款に規定する収益調整金(178,185,162円)および分配準備積立金(107,899,878円)より分配対象収益は302,671,974円(10,000口当たり1,810円)ですが、当期は分配を行いませんでした。

4 《TMA長期投資ファンド(適格機関投資家限定)》

第5期(決算日:2012年5月15日) 計算期間:2011年5月17日~2012年5月15日



東京海上アセットマネジメント投信株式会社

■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	41円 (34) (3) (4)
(b) 売買委託手数料 (株式)	15 (15)
(c) 有価証券取引税 (株式)	3 (3)
(d) 保 管 費 用 等	2
合 計	61

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

- (a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×経過日数/年間日数
 (b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料/各月末現在の平均受益権口数
 (c) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税/各月末現在の平均受益権口数
 (d) 保管費用等=期中の保管費用等/各月末現在の平均受益権口数

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

■組入資産の明細(2012年5月15日現在)

●親投資信託残高

(2012年5月15日現在)

種 類	期首(前期末)		当 期 末	
	口数	評価額	口数	評価額
東京海上長期投資マザーファンド	千口 2,096,670	千円 1,762,461	千口 2,219,111	千円 1,841,418

●東京海上長期投資マザーファンド組入上位10銘柄(2012年5月15日現在)

	銘 柄 名	国 名	評価額 (邦貨換算金額)	組入比率
			千円	%
1	キーエンス	日 本	64,476	3.5
2	デンソー	日 本	55,748	3.0
3	キャノン	日 本	54,560	3.0
4	浜松ホトニクス	日 本	49,895	2.7
5	関西ペイント	日 本	48,540	2.6
6	S M C	日 本	46,165	2.5
7	ミスミグループ本社	日 本	46,150	2.5
8	三菱商事	日 本	45,612	2.5
9	ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	ア メ リ カ	44,914	2.4
10	リンナイ	日 本	44,000	2.4

(注)組入比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

国別構成比率

資産	国名	構成比率
株式		%
	日本	54.6
	アメリカ	18.1
	イギリス	2.9
	カナダ	1.6
	ユーロ(ドイツ)	1.5
スイス	1.0	

(注)構成比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	前期末	当期末
	(2011年5月16日現在)	(2012年5月15日現在)
(A) 資 産	1,766,778,985円	1,846,015,450円
東京海上長期投資マザーファンド(評価額)	1,762,461,314	1,841,418,325
未 収 入 金	4,317,671	4,597,125
(B) 負 債	4,317,671	4,597,125
未 払 信 託 報 酬	4,228,744	4,502,423
そ の 他 未 払 費 用	88,927	94,702
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,762,461,314	1,841,418,325
元 本	2,133,879,037	2,270,223,370
次 期 繰 越 損 益 金	△371,417,723	△428,805,045
(D) 受 益 権 総 口 数	2,133,879,037口	2,270,223,370口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	8.259円	8.111円

◆元本の状況
 期首元本額 2,133,879,037円
 期中追加設定元本額 148,399,788円
 期中一部解約元本額 12,055,455円

■損益の状況

項 目	前 期	当 期
	自 2010年5月18日 至 2011年5月16日	自 2011年5月17日 至 2012年5月15日
	円	円
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	45,270,526	△21,070,427
売 買 益	45,548,218	14,855
売 買 損	△277,692	△21,085,282
(B) 信 託 報 酬 等	△7,543,340	△9,038,967
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	37,727,186	△30,109,394
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△30,439,263	7,270,518
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△378,705,646	△405,966,169
(配 当 等 相 当 額)	(78,696,829)	(88,755,189)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△457,402,475)	(△494,721,358)
(F) 計 (C+D+E)	△371,417,723	△428,805,045
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	△371,417,723	△428,805,045
追 加 信 託 差 損 益 金	△378,705,646	△405,966,169
(配 当 等 相 当 額)	(79,492,758)	(88,834,162)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△458,198,404)	(△494,800,331)
分 配 準 備 積 立 金	60,143,488	80,852,571
繰 越 損 益 金	△52,855,565	△103,691,447

(注1) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (B)信託報酬等には消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (E)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

5 《ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)》

第4期(決算日:2011年12月26日) 計算期間:2010年12月28日~2011年12月26日

■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細



項 目	当 期
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	83円 (50) (25) (8)
(b) 売買委託手数料 (株式)	7 (7)
(c) 有価証券取引税 (株式)	1 (1)
(d) 保 管 費 用 等	10
合 計	101

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 有価証券取引税、(d) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■組入資産の明細(2011年12月26日現在)

●親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド	千口 2,019,491	千口 2,280,087	千円 1,690,912

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

●ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド組入上位10銘柄(2011年12月26日現在)

順位	銘柄名	国名	主たる事業	比率
1	INDITEX	スペイン	衣料品製造・販売	5.5%
2	ESSILOR INTERNATIONAL	フランス	レンズ製造	5.5%
3	SAP AG	ドイツ	ソフトウェア開発	5.1%
4	COLOPLAST	デンマーク	医療機器製造	5.0%
5	SODEXO	フランス	ケータリング・サービス	4.9%
6	DASSAULT SYSTEMES SA	フランス	ソフトウェア開発	4.7%
7	LINDE AG	ドイツ	産業用ガス製造	4.6%
8	DANONE	フランス	食品加工業	4.6%
9	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SA	フランス	高級ブランド品製造・販売	4.2%
10	HENNES & MAURITZ AB	スウェーデン	衣料品製造・販売	4.0%

※国および主たる事業の区分は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

※比率は純資産総額に対する評価額の割合

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	期首（前期末） （2010年12月27日現在）	当期末 （2011年12月26日現在）
(A) 資産 コ ー ル ・ ロ ー ン 等 ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド（評価額）	1,602,827,335円 7,630,757	1,700,178,554円 9,265,965
未 収 利 息	1,595,196,568 10	1,690,912,577 12
(B) 負債 未 払 信 託 報 酬 そ の 他 未 払 費 用	7,493,801 7,275,593 218,208	9,140,891 8,878,391 262,500
(C) 純 資 産 総 額 （ A - B ）	1,595,333,534	1,691,037,663
元 本	2,072,716,734	2,365,133,872
次 期 繰 越 損 益 金	△477,383,200	△674,096,209
(D) 受 益 権 総 口 数	2,072,716,734口	2,365,133,872口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 （ C / D ）	7,697円	7,150円

(注) 当ファンドの期首元本額は2,072,716,734円、期中追加設定元本額は372,877,487円、期中一部解約元本額は80,460,349円です。

(注) また、1口当たり純資産額は0.7150円です。

■損益の状況

項 目	前期（2009年12月26日～2010年12月27日） 当期（2010年12月28日～2011年12月26日）	
	前 期	当 期
(A) 配当等収益	1,246 円	1,813 円
受取利息	1,246	1,813
(B) 有価証券売買損益	23,046,431	△96,055,310
売買益	24,896,505	4,487,206
売買損	△1,850,074	△100,542,516
(C) 信託報酬等	△13,465,109	△18,643,695
(D) 当期損益金（A+B+C）	9,582,568	△114,697,192
(E) 前期繰越損益金	25,476,503	33,864,465
(F) 追加信託差損益金 （配当等相当額）	△512,442,271 (19,762,936)	△593,263,482 (29,820,859)
（売買損益相当額）	(△532,205,207)	(△623,084,341)
(G) 合計（D+E+F）	△477,383,200	△674,096,209
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金（G+H）	△477,383,200	△674,096,209
追加信託差損益金 （配当等相当額）	△512,442,271 (20,752,550)	△593,263,482 (29,988,571)
（売買損益相当額）	(△533,194,821)	(△623,252,053)
分配準備積立金	35,059,071	46,293,088
繰越損益金	-	△127,125,815

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(12,428,623円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(29,988,571円)および分配準備積立金(33,864,465円)より分配対象収益は76,281,659円(10,000口当たり322円)ですが、当期に分配した金額はありません。

6《ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)》

第4期(決算日:2011年12月26日) 計算期間:2010年12月28日~2011年12月26日



■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	94円 (57) (28) (9)
(b) 売買委託手数料 (株式)	19 (19)
(c) 有価証券取引税 (株式)	6 (6)
(d) 保 管 費 用 等	45
合 計	164

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 有価証券取引税、(d) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

■組入資産の明細(2011年12月26日現在)

●親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケットマザーファンド	千口 2,590,606	千口 3,085,325	千円 2,485,846

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

●ニッポンコムジェスト・エマージングマーケットマザーファンド組入上位10銘柄(2011年12月26日現在)

順位	銘柄名	国名	主たる事業	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾	半導体製造	5.7%
2	JBS SA	ブラジル	食肉加工	4.7%
3	CHINA LIFE INSURANCE	中国	保険	4.0%
4	GOLD FIELDS LIMITED	南アフリカ	金鉱開発	4.0%
5	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	SNS サービス	3.3%
6	NASPERS LTD	南アフリカ	メディア・サービス	3.2%
7	HEINEKEN NV	オランダ	ビール醸造	3.1%
8	SABMILLER PLC	南アフリカ	ビール醸造	3.1%
9	CCR SA	ブラジル	高速道路管理	3.0%
10	RANDGOLD	マリ	金鉱開発	3.0%

※国の別は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

※比率は純資産総額に対する評価額の割合

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	期首（前期末） （2010年12月27日現在）	当期末 （2011年12月26日現在）
(A) 資産等 コール・ローン ニッポンコムジェスト・エマージングマーケットマザーファンド（評価額） 未収利息	2,637,508,845円 10,115,783 2,627,393,049 13	2,499,218,104円 13,371,474 2,485,846,612 18
(B) 負債 未払信託報酬 その他未払費用	9,894,625 9,606,490 288,135	13,226,223 12,963,723 262,500
(C) 純資産総額（A - B） 元本 次期繰越損益金	2,627,614,220 2,655,878,581 △28,264,361	2,485,991,881 3,196,655,668 △710,663,787
(D) 受益権総口数 1万口当たり基準価額（C/D）	2,655,878,581口 9,894円	3,196,655,668口 7,777円

（注）当ファンドの期首元本額は2,655,878,581円、期中追加設定元本額は598,285,706円、期中一部解約元本額は57,508,619円です。

（注）また、1口当たり純資産額は0.7777円です

■損益の状況

項 目	前期（2009年12月26日～2010年12月27日） 当期（2010年12月28日～2011年12月26日）	
	前 期	当 期
(A) 配当等収益 受取利息	1,412 円 1,412	2,744 円 2,744
(B) 有価証券売買損益 売買益 売買損	176,193,470 176,792,573 △599,103	△572,931,249 8,422,647 △581,353,896
(C) 信託報酬等	△16,450,484	△27,548,650
(D) 当期損益金（A + B + C）	159,744,398	△600,477,155
(E) 前期繰越損益金	106,052,277	260,801,651
(F) 追加信託差損益金 （配当等相当額） （売買損益相当額）	△294,061,036 (146,262,762) (△440,323,798)	△370,988,283 (236,896,131) (△607,884,414)
(G) 合計（D + E + F）	△28,264,361	△710,663,787
(H) 収益分配金 次期繰越損益金（G + H） 追加信託差損益金 （配当等相当額） （売買損益相当額） 分配準備積立金	0 △28,264,361 △294,061,036 (147,705,218) (△441,766,254) 265,796,675	0 △710,663,787 △370,988,283 (237,735,324) (△608,723,607) 283,187,255
繰越損益金	—	△622,862,759

（注）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含まれます。

（注）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）計算期間末における費用控除後の配当等収益(22,385,604円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(237,735,324円)および分配準備積立金(260,801,651円)より分配対象収益は520,922,579円(10,000口当たり1,629円)ですが、当期に分配した金額はありません。

7《ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007(適格機関投資家専用)》

第 5 期(決算日:2012 年 3 月 9 日) 計算期間:2011 年 3 月 10 日~2012 年 3 月 9 日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

■1 万口 (元本 10,000 円) 当たりの費用の明細

項	目	当 期
(a)	信託報酬	94円
	(投信会社)	(72)
	(販売会社)	(16)
	(受託銀行)	(6)
(b)	売買委託手数料	6
	(株 式)	(6)
(c)	有価証券取引税	1
	(株 式)	(1)
(d)	保 管 費 用 等	4
	合 計	105

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です (各項目ごとに円未満は四捨五入しています)。

- (a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額×信託報酬率
 (b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数
 (c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 / 期中の平均受益権口数
 (d) 保管費用等 = 期中の保管費用等 / 期中の平均受益権口数

なお、売買委託手数料、有価証券取引税 および保管費用等は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■組入資産の明細

●親投資信託残高

(2012 年 3 月 9 日現在)

種 類	期首 (前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株マザーファンド	千口 13,126,217	千口 13,096,702	千円 10,199,712

(注) 親投資信託の当期末の受益権総口数は 32,243,670 千口です。

●ALAMCO ハリスグローバルバリュース株マザーファンド組入上位 10 銘柄 (2012 年 3 月 9 日現在)

順位	銘柄名	組入比率
1	INTEL CORP	6.3%
2	CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	3.9%
3	ADECCO SA-REG	3.8%
4	DAIMLER AG-REG	3.7%
5	STARWOOD HOTELS & RESORTS	3.6%
6	AKZO NOBEL	3.6%
7	ALLIANZ SE	3.5%
8	PUBLICIS GROUPE	3.4%
9	WELLS FARGO & CO	3.3%
10	JULIUS BAER GROUP LTD	3.2%

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2012年3月9日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	10,280,512,861円
コ ー ル ・ ロ ー ン 産 等	80,800,565
A L A M C O ハ リ ス グ ロ ー バ ル	
バ リ ュ ー 株 マ ー ジ ン フ ェ ン ド (評 価 額)	10,199,712,164
未 収 利 息	132
(B) 負 債	59,505,782
未 払 信 託 報 酬	59,338,344
そ の 他 未 払 費 用	167,438
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	10,221,007,079
元 本	13,872,628,093
次 期 繰 越 損 益 金	△3,651,621,014
(D) 受 益 権 総 口 数	13,872,628,093口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	7,368円

(注1) 期首元本額は13,707,245,555円、期中追加設定元本額は9,843,805,037円、期中一部解約元本額は9,678,422,499円です。

(注2) 投資信託財産計算規則第55条の6第10号に規定する額は以下のとおりです。
元本の欠損(当期末) 3,651,621,014円

■損益の状況

当期(自2011年3月10日至2012年3月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	49,908
受取利息	49,908
(B) 有価証券売買損益	△320,503,662
売買益	1,576,567
売買損	△322,080,229
(C) 信託報酬等	△125,442,212
(D) 当期損益金 (A+B+C)	△445,895,966
(E) 前期繰越損益金	△10,132,231
(F) 追加信託差損益金	△3,195,592,817
(配当等相当額)	(354,828,954)
(売買損益相当額)	(△3,550,421,771)
(G) 計 (D+E+F)	△3,651,621,014
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (G+H)	△3,651,621,014
追加信託差損益金	△3,195,592,817
(配当等相当額)	(381,531,466)
(売買損益相当額)	(△3,577,124,283)
分配準備積立金	111,717,115
繰越損益金	△567,745,312

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託する場合における当該委託に要する費用は59,324,773円となります。

(注5) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(34,468,255円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(一元)、信託約款に規定する収益調整金(381,531,466円)および分配準備積立金(77,248,860円)より分配可能額は493,248,581円(10,000口当たり355円)ですが、当期は分配を行いませんでした。

8《コモンズ30ファンド(適格機関投資家用)》

第3期(決算日:2012年1月18日) 計算期間:2011年1月19日~2012年1月18日



■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項	目	当 期
(a)	信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	59円 (54) (1) (4)
(b)	売買委託手数料 (株式)	11 (11)
(c)	保 管 費 用 等	2
	合 計	72

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

■組入資産の明細

●親投資信託残高

(2012年1月18日現在)

種類	期 首		当 期 末	
	口数	評価額	口数	評価額
コモンズ・サーティー・マザーファンド	千口 497,832	千円 700,948	千口 760,609	千円 930,605

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

●コモンズ30ファンド組入上位10銘柄(2012年1月18日現在)

銘柄名	業種	比率
1 ユニ・チャーム	化学	3.5%
2 ベネッセホールディングス	サービス業	3.4%
3 エア・ウォーター	化学	3.2%
4 旭化成	化学	3.2%
5 楽天	サービス業	3.1%
6 ローソン	小売業	3.1%
7 シスメックス	電気機器	3.0%
8 堀場製作所	電気機器	3.0%
9 クボタ	機械	2.9%
10 ディスコ	機械	2.9%

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する比率。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	期首 (前期末)	当期末
	(2011年1月18日現在)	(2012年1月18日現在)
(A) 資産	701,918,582円	932,305,220円
コモンズ・サテーター・マザーファンド (評価額)	700,948,582	930,605,220
未 収 入 金	970,000	1,700,000
(B) 負債	954,098	1,558,967
未 払 信 託 報 酬	855,282	1,453,967
そ の 他 未 払 費 用	98,816	105,000
(C) 純資産総額 (A-B)	700,964,484	930,746,253
元 本	686,764,930	1,057,483,868
次 期 繰 越 損 益 金	14,199,554	△126,737,615
(D) 受 益 権 総 口 数	686,764,930口	1,057,483,868口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	10,207円	8,802円

(注) 当ファンドの期首元本額は686,764,930円、期中追加設定元本額は370,718,938円、期中一部解約元本額は0.0円です。

(注) また、1口当たり純資産額は0.8802円です。

■損益の状況

項 目	前期 (2010年 1月19日~2011年1月18日)	当期 (2011年 1月19日~2012年1月18日)
	前期	当期
(A) 有価証券売買損益	37,047,592 円	△124,419,233 円
売買益	37,106,218	—
売買損	△58,626	△124,419,233
(B) 信託報酬等	△1,656,515	△5,798,990
(C) 当期損益金 (A+B)	35,391,077	△130,218,223
(D) 前期繰越損益金	5,573,414	40,964,491
(E) 追加信託差損益金	△26,764,937	△37,483,883
(配当等相当額)	(53,384,407)	(105,270,527)
(売買損益相当額)	(△80,149,344)	(△142,754,410)
(F) 計 (C+D+E)	14,199,554	△126,737,615
(G) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金 (F+G)	14,199,554	△126,737,615
追加信託差損益金	△26,764,937	△37,483,883
(配当等相当額)	(54,005,644)	(106,416,601)
(売買損益相当額)	(△80,770,581)	(△143,900,484)
分配準備積立金	40,964,491	53,276,501
繰越損益金	—	△142,530,233

(注) 損益の状況の中で (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注) 損益の状況の中で (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (12,312,010 円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0 円)、信託約款に規定する収益調整金 (106,416,601 円) および分配準備積立金 (40,964,491 円) より分配対象収益は 159,693,102 円 (10,000 口当たり 1,510 円) ですが、当期に分配した金額はありません。

9《キャピタル・インターナショナル・USグロースアンドインカム・ファンド クラスX(ルクセンブルグ籍円建外国投資法人)》
 (決算日:2011年12月31日) 計算期間:2011年1月1日~2011年12月31日

※このファンドは2011年12月1日よりありがとうファンドの投資対象ファンドとして組入れを開始しています。

※下記情報は、Capital International Fund- Audited Annual Report 2011- For the year ended 31 December 2011 より

“Capital International US Growth and Income” の部を転記しております。また表示は基準通貨 (Base Currency) のユーロ (EUR) 建です。

■国別構成比率

As at 31 December 2011	%
United States	82.91
United Kingdom	5.12
Canada	0.54
Germany	0.28
Total corporate Bonds	0.29
Cash at bank and other net assets	10.86
Total	100.00

■セクター別構成比率

As at 31 December 2011	%
Information technology	16.2
Consumer discretionary	13.7
Energy	12.5
Financials	10.8
Consumer staples	9.4
Industrials	7.7
Telecommunication services	7.6
Health care	7.1
Materials	4.1
Cash and equivalents	10.9
Total	100.00

■資産、負債、純資産の状況

As at 31 December 2011 (continued)	
Assets	
Investments at market value	110,034,430
Cash at bank	13,882,011
Dividend and interest receivable (net of withholding taxes)	137,772
Prepaid expenses and other receivables	36,809
Unrealised gain on forward foreign exchange contracts	—
Receivable for fund shares subscribed	48,529
Receivable for investments sold	—
Unrealised gain on hedged share classes forward foreign exchange contracts	3,974
Total assets	124,143,525
Liabilities	
Payable for investments purchased	52,848
Accrued expenses and other payables	63,280
Management fee payable	91,592
Payable for fund shares redeemed	492,118
Total liabilities	699,838
Total net assets	123,443,687
Investment securities at cost	95,884,244

■ 損益の状況

As at 31 December 2011 (continued)

Income	
Dividend income (net of withholding taxes)	· 2,200,599
Interest on bonds and convertible bonds (net of withholding taxes)	17,498
Interest on bank accounts and time deposits	5,188
	2,223,285
Expenses	
Management fee	1,145,588
Administrative Manager services	107,197
Professional services	55,174
Custody	17,692
Taxe d'abonnement	44,079
Printing and publishing	20,114
Other	14,999
	1,404,843
Reimbursement of expenses	17,162
Net investment income/(loss) (a)	835,604
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	1,430,918
Foreign currency transactions	(157,671)
Net realised profit/(loss) for the year (b)	1,273,247
Net change in unrealised appreciation/ (depreciation) on:	
Investments	(3,161,711)
Foreign currency transactions	294,587
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) for the year (c)	(2,867,124)
Result of operations for the year (a+b+c)	(758,273)
Dividend distribution	(75,654)
Net subscriptions/(redemptions) of shares for the year	364,839
Total net assets at the beginning of the year	123,912,775
Total net assets at the end of the year	· 123,443,687